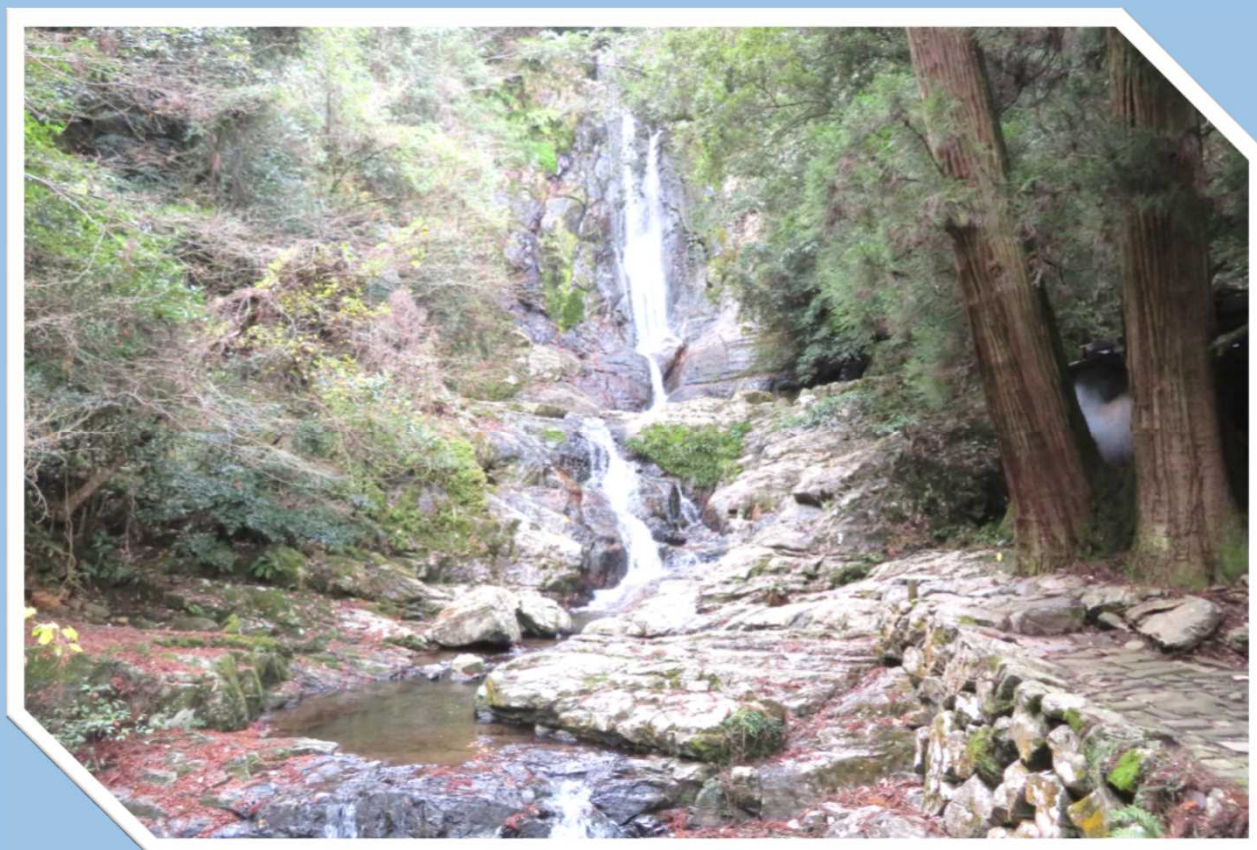


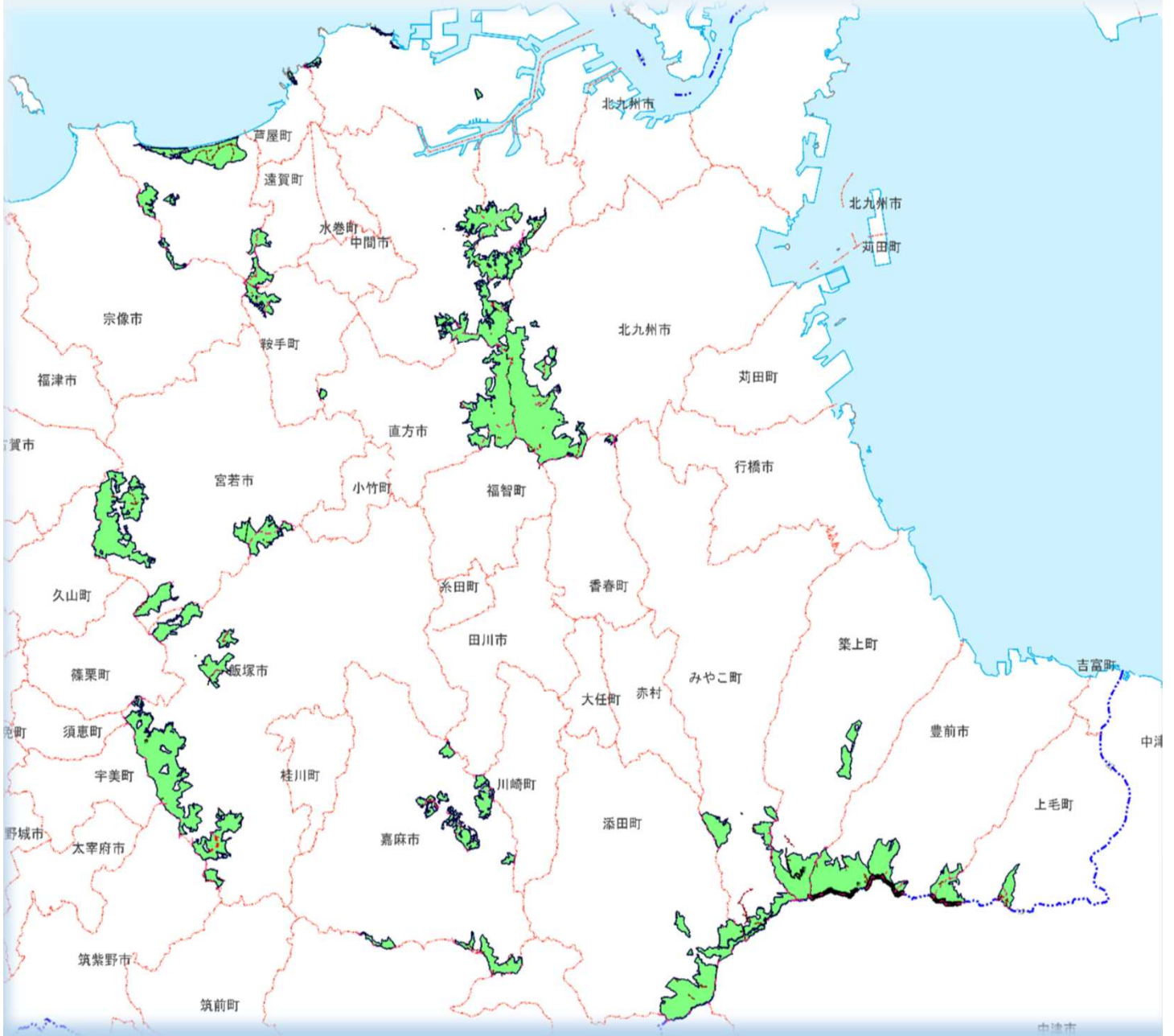
あなたの町の国有林

遠賀川流域における国有林野事業の取組み



九州森林管理局 福岡森林管理署

遠賀川流域の位置図



凡例	
国有林	
行政界	

遠賀川流域の概要

I 自然的背景

1 位置及び面積

遠賀川流域は、福岡県の北東部に位置し、北九州市、直方市、飯塚市、田川市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、嘉麻市、遠賀郡、鞍手郡、嘉穂郡、田川郡、京都郡、築上郡の9市6郡（18町1村）からなり、面積215,504haの地域で、福岡県総面積498,651haの約43%を占めています。

流域の森林面積は、106,328haで、森林率は約49%となっています。国有林は7市6郡（11町）に所在し、福智山団地、三郡山団地、英彦山団地とこれらの中に介在する小団地で形成されており、面積は12,329haで全森林面積の約12%を占めています。

2 地勢

流域の山系としては福智山山地、英彦山・犬ヶ岳山地、古処・馬見山地、三郡山地等からなっており、これらを源とする遠賀川が中央部を南北に流れ遠賀平野を形成し、響灘に注いでいます。また、南東部には山国川、今川が周防灘に注いでいます。

これらの河川は、流域内の犬鳴ダム、カ丸ダムなどとともに流域の生活・農業・工業用水として多目的に利用されています。

3 地質及び土壌

福智山地から平尾台にかけて石灰岩が分布しており、三郡山地は閃雲花崗岩類、古処・馬見山地及び英彦山・犬ヶ岳山地の火山岩山地は花崗閃緑岩類と田川変成岩からなっている。また、遠賀平野の低山地は砂岩、頁岩及び礫岩等からなっています。

土壌は大部分が褐色森林土で、海岸部分から台地、奥地へと次第に湿性褐色森林土に移行しています。また、筑豊盆地は石炭を含む第三紀層と平野部の沖積層からなっており、平尾台等の石灰岩地帯では乾性暗赤色土が分布しています。

4 気候

気候は、北部は冬期の寒気が厳しい「日本海型気候区」、周防灘に面した東部は温暖寡雨で寒暖の差が小さい「瀬戸内海型気候区」、中央部の筑豊盆地は気温較差が県内で一番大きい「西九州内陸型気候区」、の3つに分けられます。

年平均気温は、16℃程度で、年間降水量は、平野部で1,200～1,800mm、山間部で2,000～2,500mmとかなりの差があり、林木生育に大きな影響を与えています。

Ⅱ 社会経済的背景

1 人口

流域の人口は、約1,653千人で、福岡県人口5,139千人の約32%を占めています。人口密度は767人／km²で、人口の集中度が高い地域です。

2 交通

JR山陽新幹線、鹿児島本線、日豊本線、九州縦貫自動車道、東九州自動車道等が九州における幹線交通網の起点となっており、これら幹線を軸として、JR線、国道3号・10号、その他主要地方道とも良く発達しており交通の至便な地域です。

また、北九州空港や北九州港が整備され、人員の輸送や物資の流通に重要な役割を果たしています。

3 産業の概要

産業は、鉄鋼や石炭を主軸とした基礎素材供給型産業から自動車産業やIC産業等機械系製造業を中心とした加工組立型産業へと大きく変化を遂げています。

農業は、水稻が中心ですが、福岡・北九州都市圏への安定供給をめざして野菜、花き及び果樹などの産地化が図られています。

水産業は、響灘と周防灘沿岸において沿岸漁業が営まれ、栽培漁業や資源管理型漁業への取り組みが進められています。

観光面では、余暇時間の増大、価値観の多様化、交通体系の高速化などの情勢変化に対応した観光施設や優れた自然の景観地を利用した森林空間利用施設が整備されています。

Ⅲ 国有林野の管理経営の基本方針

流域の国有林野は、福岡県の北東部に位置する遠賀川水系の上流部に位置し、森林の現況は、人工林が6,993ha、天然林が4,910haとなっており、主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではシイ類、カシ類などとなっています。

全体の約7割が北九州国定公園や耶馬日田英彦山国定公園等国および県指定の自然公園となっており、北九州自然休養林に代表される都市近郊林や英彦山等優れた自然景観が豊富なことから、登山やハイキングなど森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されています。さらに、全体の99%が水源かん養保安林を主体とした保安林に指定されており、下流域の水がめとして重要な役割を担っています。

このため、林産物の供給や地域振興への寄与にも配慮しつつ、国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進に重点を置くとともに、近年、特に国有林に対する期待が大きくなっている地球温暖化の防止、生物多様性の保全等にも対応した管理経営を行うこととしています。

山地災害防止タイプ 3,424 ha

- ・土砂流出・崩壊防備エリア 2,992ha
- ・気象害防備エリア 432ha

山地災害防止タイプは、土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、次の事項に留意して、保全対象と当該森林の位置的關係、地質や地形等の地況、森林現況等を踏まえた適切な管理運営をおこなうこととします。

土砂流出・崩壊防備エリアでは、根系が深くかつ広く発達し、常に落葉層を保持し、適度に陽光が入ることによって下層植生の発達が良好な森林であって、必要に応じて土砂の流出、崩壊を防止する治山施設等が整備されている森林を整備の目標とします。

気象害防備エリアでは、樹高が高く下枝が着生しているなど遮蔽能力が高く、緒被害に対する抵抗性の高い樹種によって構成される森林を整備の目標とします。



自然維持タイプ 769 ha

自然維持タイプは、原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、原則として自然の推移に委ねるとともに、生物多様性の保全等に配慮した管理経営を行うこととします。



森林空間利用タイプ

1,547 ha

森林空間利用タイプは、スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの保健・文化的利用の形態に応じた管理経営を行うこととします。



快適環境形成タイプ

20 ha

快適環境形成タイプは、騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の居住環境を良好な状態に保全する機能を重点的に発揮すべき森林であり、それぞれの機能に応じた管理経営を行うこととします。



水源涵養タイプ

6,129 ha

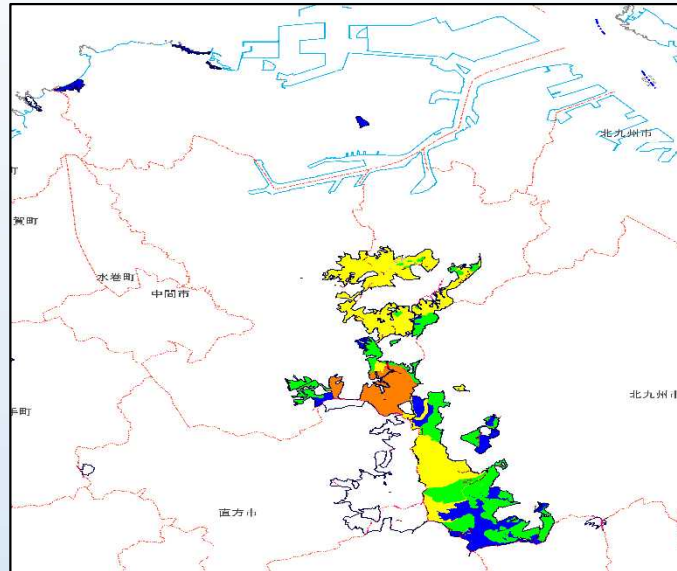
水源涵養タイプは、国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林であり、渇水緩和や水質保全等の水源涵養機能を高めるため、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び根系や下層植生の発達が良好で諸被害に強い森林の整備を目標として管理経営を行うこととします。



北九州市の国有林

政令都市の北九州市にある国有林は、2,862haで、若松区、八幡東区、八幡西区、小倉南区に分布し、市の森林面積の15%を占めています。市の南西の皿倉山や福智山を中心に広がる国有林では、国土保全、水源かん養、自然維持、森林空間利用などの公益的機能を重視した維持管理に取り組んでいます。

都市近郊の「帆柱山系」の山々は、北九州自然休養林、北九州国定公園特別地域、鳥獣保護特別区域として自然環境の保全に力が注がれています。また、同じ規制の中にある「福智山山系」は多目的な機能の発揮が求められています。



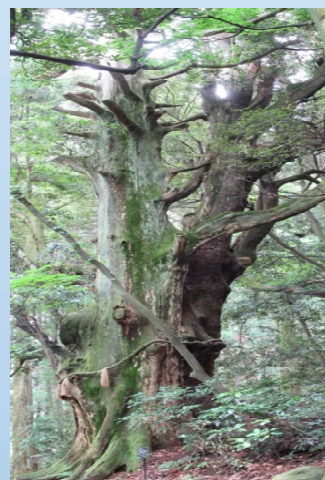
山地災害防止タイプ	543.04ha	
自然維持タイプ	304.99ha	
森林空間利用タイプ	1,299.91ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	719.28ha	



皿倉山ケーブルカー



皿倉山山頂



皇后杉



ネムノキの展望台

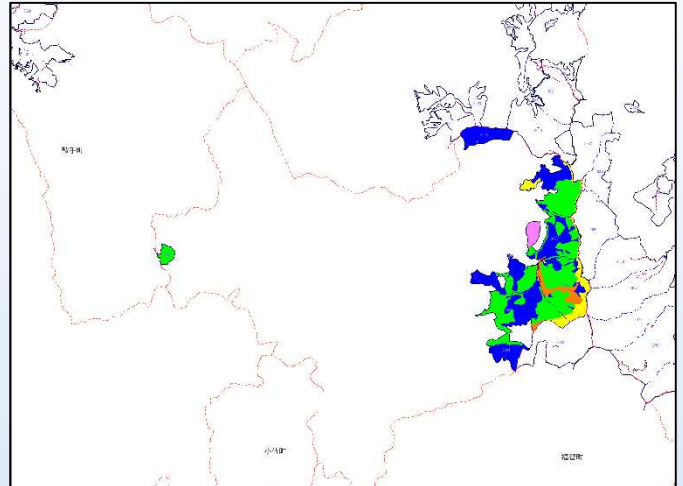


皇后杉根株(皿倉山山上駅)

直方市の国有林

直方市にある国有林は783haで、市の森林面積の約37%を占めています。国有林野は主に市の東方の福智山山系にあり、北九州国立公園特別地域に指定されていることなどから、森林空間利用や水源かん養などの機能を重視した長期間の森林施業に取り組んでいます。

県内でも屈指の登山コースである「福智山」(標高901m)は、山頂を北九州市・福智町・直方市の行政界が走り、登山者はそれぞれのコースから訪れ年中賑わっています。



山地災害防止タイプ	342.87ha	
自然維持タイプ	30.24ha	
森林空間利用タイプ	63.23ha	
快適環境形成タイプ	20.01ha	
水源涵養タイプ	326.30ha	



快適環境形成タイプ3087林班



福智山山麓花公園



福智山からの山々

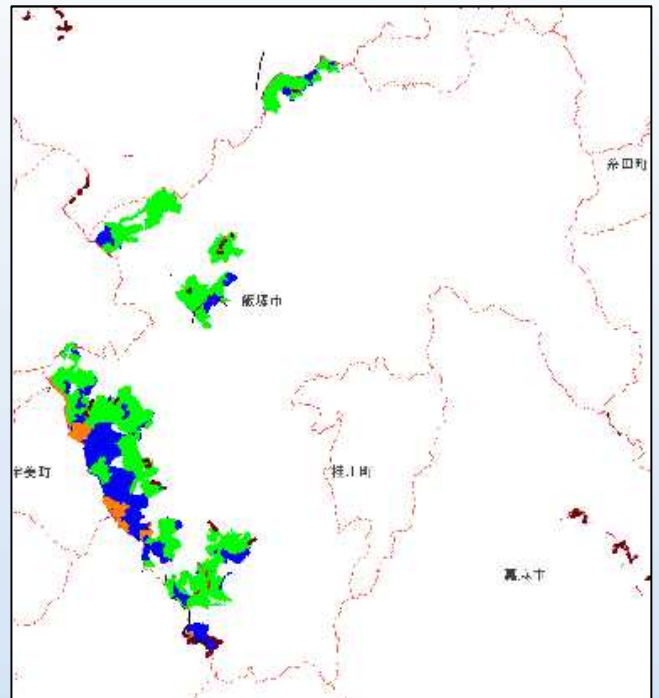


竜王峡キャンプ村

飯塚市の国有林

飯塚市にある国有林は1,996haで、市の森林面積の19%を占めています。そのうち約9割が水土保持林であり、遠賀川流域の水源としての機能が求められています。

また、竜王山や笠置山の登山コース、溪流公園、三郡山登山コースがあり、多くの人に利用されています。



山地災害防止タイプ	652.02ha	
自然維持タイプ	93.66ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	1,250.54ha	



八木山溪流公園



笠置山

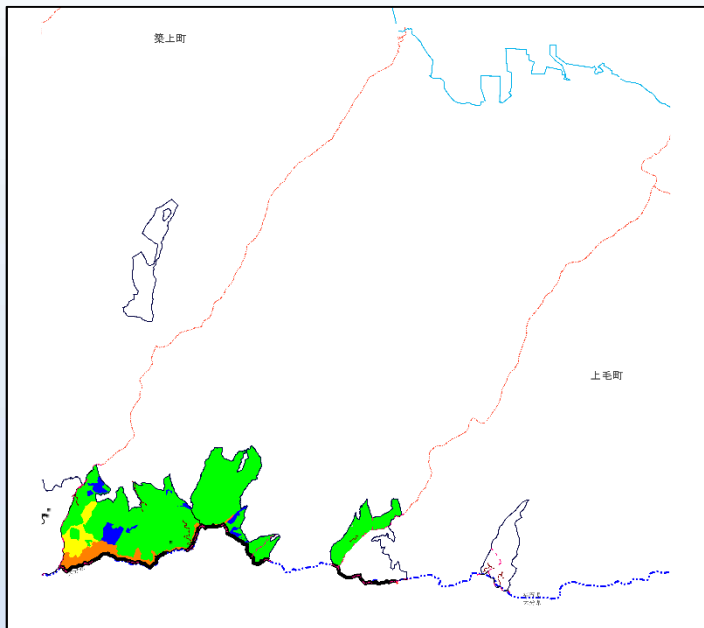


笠置山ダム公園

豊前市の国有林

豊前市にある国有林は998haで、市の森林面積の約15%を占めています。国有林の99%が保安林に指定され、公益林として管理しています。






耶馬日田英彦山国定公園の北東に位置する求菩提、犬ヶ岳(標高1,131m)は、ブナ・ミズナラ・イヌシデ等の高齢級天然林が生い茂り、犬ヶ岳から笈吊峠間の九州自然歩道沿いのツクシヤクナゲ大群生地は、国の天然記念物に指定され、淡紅色に咲き誇る可憐な花は登山者の目を楽しませています。



求菩提山



求菩提山と犬ヶ岳

山地災害防止タイプ	67.39ha	
自然維持タイプ	73.38ha	
森林空間利用タイプ	59.31ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	797.68ha	

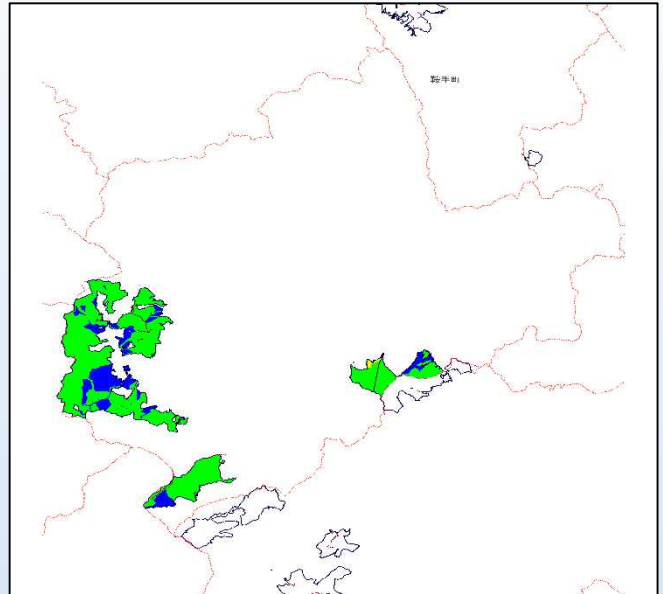


求菩提キャンプ場






宮若市の国有林

宮若市にある国有林は1,208haで、市の森林面積の約14%を占めています。千石峡や力丸ダムの周辺の国有林は水源かん養機能を担うかたわら、千石地区の溪谷や八木山川の溪流はキャンプや絶好の水遊び場となっています。

また、管岳、牟田ヶ尾、犬鳴、太平、金山と連なる国有林の大半が水源かん養・国土保全の機能を発揮し、山麓農山村の生活安定に寄与しています。



犬鳴山国有林

山地災害防止タイプ	252.37ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	6.87ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	949.10ha	



犬鳴ダム親水公園

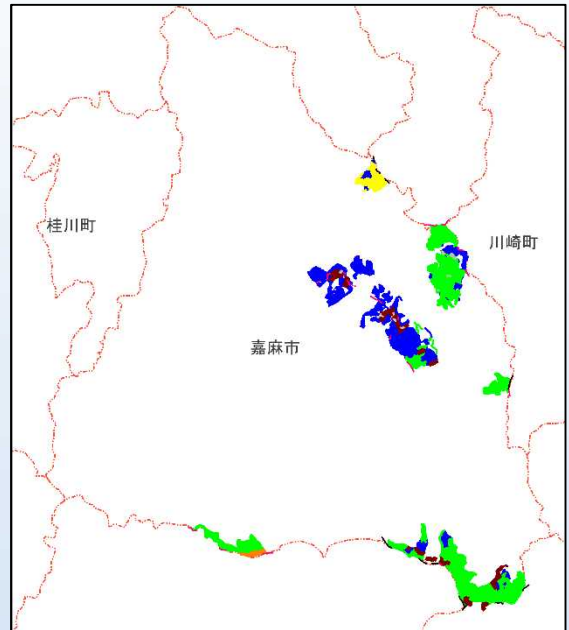


千石公園

嘉麻市の国有林

嘉麻市にある国有林は706haで、市の森林面積の約9%を占めています。行政区内のほぼ中心に位置するもの、小石原峠から古処山系に至る市野山・馬見山・古処山にあるものなど、遠賀川支流の嘉麻川の上流域を占めています。

稜線には、九州自然歩道が走り、古処山は天然記念物のツゲ原生林が有名です。



山地災害防止タイプ	293.57ha	
自然維持タイプ	6.56ha	
森林空間利用タイプ	29.44ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	376.03ha	



安国寺



遠賀川源流の地

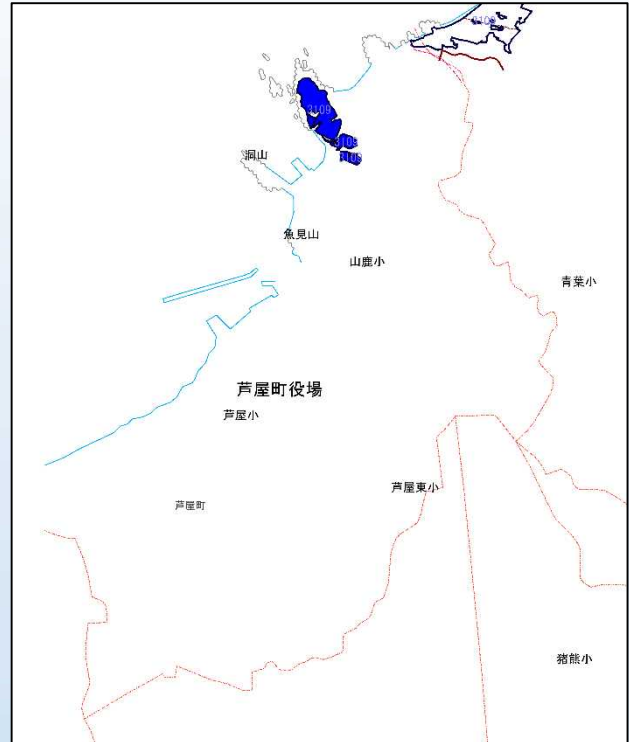


梅林公園から安国寺風景林

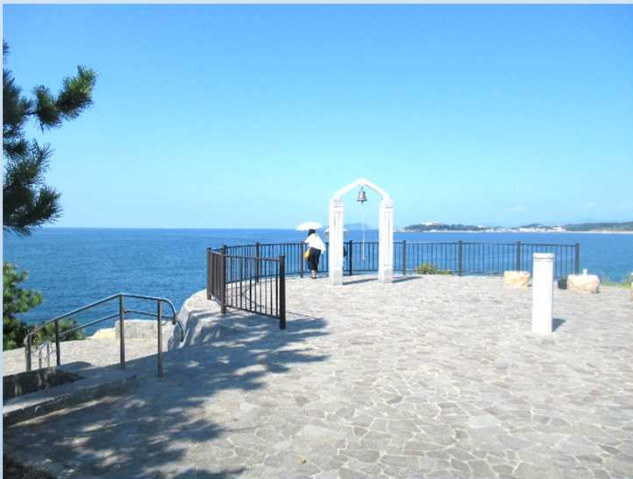
芦屋町の国有林

遠賀川の河口に位置する芦屋町にある国有林は12haで、防風保安林に指定されており、町の森林面積の約4%を占めています。玄界灘からの強風に直面する防風保安林は、塩害や風害防止の機能が強く、内陸部に展開する生活ゾーンの保護のために大きな役割を果たしています。

基地の町として栄えた歴史を背負いつつ、風光明媚な海岸線と緑豊かな郊外としての立地条件を生かし、団地造成が進んできた町です。



山地災害防止タイプ	11.83ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	0.00ha	



夏井ヶ浜はまゆう公園



狩尾国有林

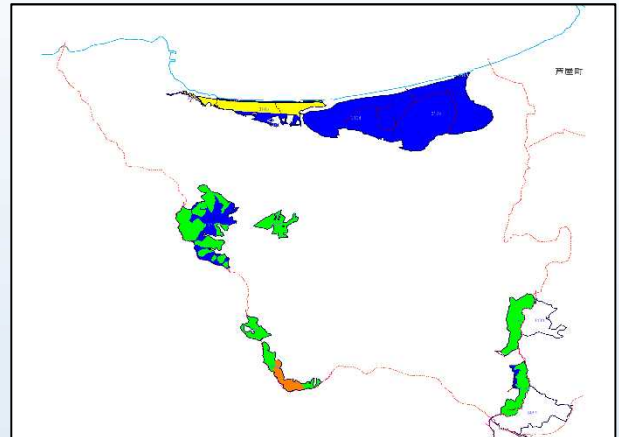


狩尾岬

岡垣町の国有林

岡垣町にある国有林は686haで、町の森林面積の約26%を占めています。そのうち約400haは、三里松原の海岸線に分布し、玄界灘からの塩害や風害防止のため永々と維持管理されています。また、内陸部の国有林は国土保全・水源かん養機能を重視した施業を実施しています。

藩政時代に植えられた松林は昭和40年代からマツクイムシの被害の激化によって、壊滅的な状況にありましたが新植によるマツ林の造成、被害防止のためのヘリコプター散布を行い水土保全林として管理しています。



山地災害防止タイプ	431.89ha	
自然維持タイプ	15.75ha	
森林空間利用タイプ	49.53ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	188.79ha	



三里松原



三里松原



地上散布状況

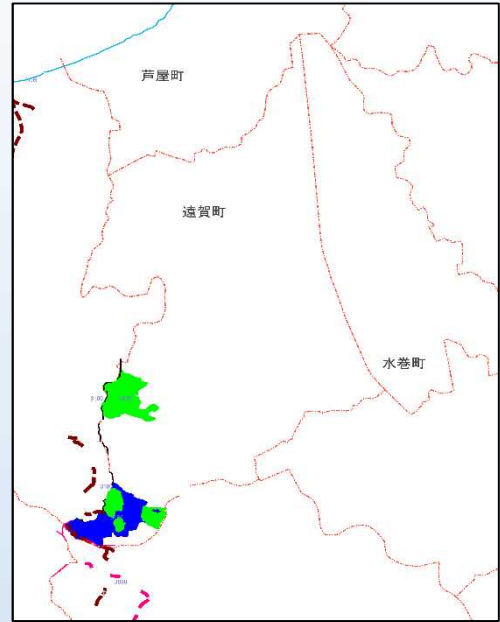


ボランティア植樹活動






遠賀町の国有林

遠賀町にある国有林は119haで、町の森林面積の約32%を占めています。遠賀川に河口に近接する町の中央を国道3号線とJR鹿児島本線が東西に通過し、交通の利便さから北九州都市圏の住宅都市として発展してきた町です。

基幹産業である農業地帯の上流の国有林は、国土保全や水源かん養を主体にした維持管理に努めています。



虫生津山国有林

山地災害防止タイプ	53.15ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	66.26ha	



別府山国有林

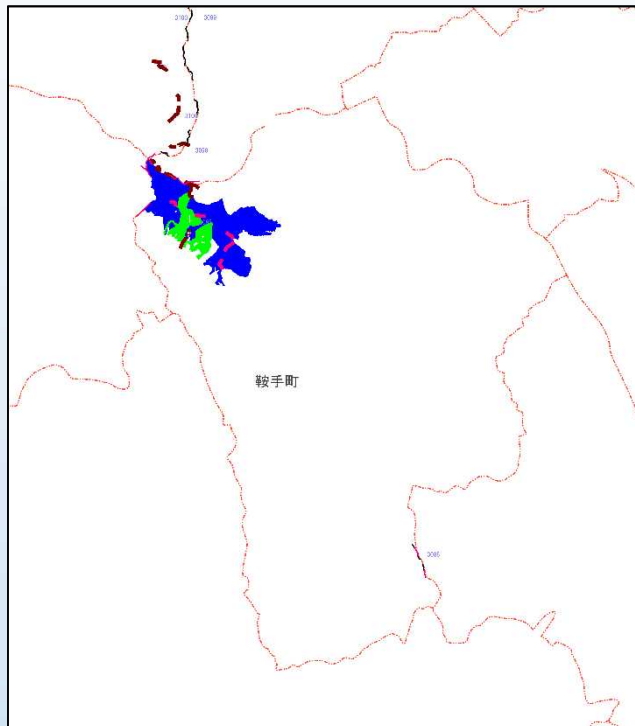


別府山国有林から遠賀町市街地

鞍手町の国有林

鞍手町にある国有林は141haで、町の森林面積の約11%を占めています。比較的平野部の多い地形は、農業を主産業とする利用形態であったものが、北九州市に隣接する立地から工業団地化が進み、第2次産業の就業率が高い構造になっています。

「資源の循環利用林」として針葉樹の人工林の割合が比較的高くなっていますが、木材生産機能を図る一方で、土砂の流出や崩壊による災害防止などの国土保全機能を高めていくことにも力を注いでいます。



山地災害防止タイプ	118.16ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	23.16ha	



一六神社



一六神社のクスノキ



永谷山、古月山国有林

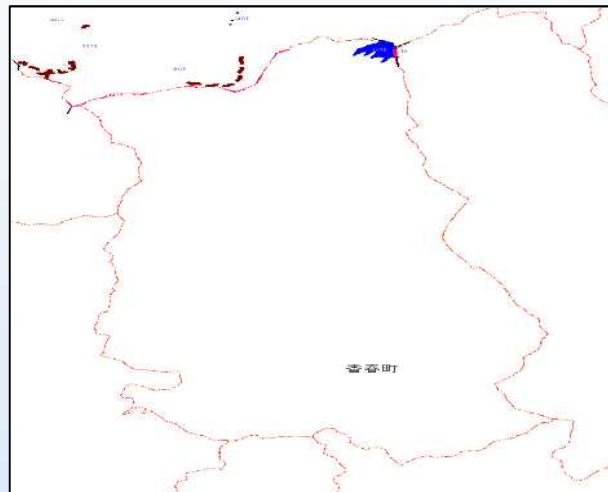
香春町の国有林




香春町にある国有林は15haで、町の森林面積の約1%となっています。

竜ヶ鼻(標高681m)の南西斜面に位置する国有林は、土砂流出防備保安林に指定され林地保全と水源かん養の役割を果たしています。



龍ヶ鼻国有林



山地災害防止タイプ	14.78ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	0.00ha	

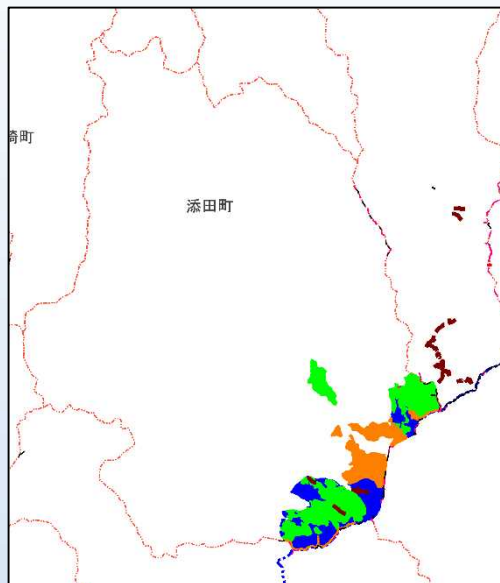


竜ヶ鼻山

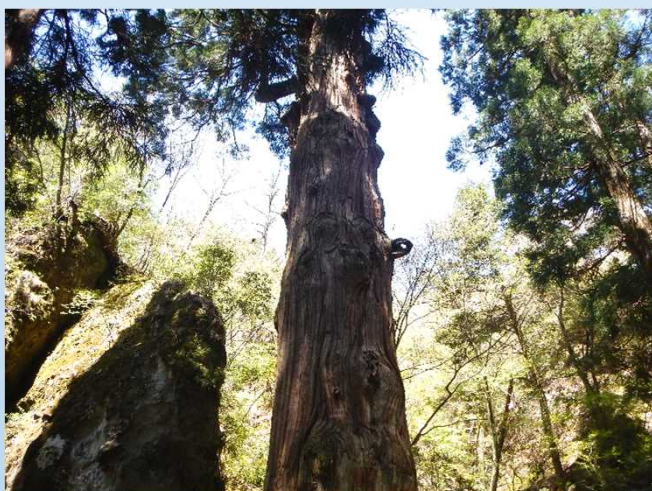
添田町の国有林

添田町にある国有林は869haで、町の森林面積の約8%を占めています。山岳信仰の源として古くは鎌倉時代にさかのぼるほど、歴史の古い神秘的な山々の大半を国有林が占めています。

国有林には、鷹巣山天然記念物、鬼スギ天然記念物、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林など学術的にも貴重な森林があり、歴史や文化的価値とともに優れた林相は深山の趣が大きくあります。また、国有林に隣接する英彦山神宮の「奉幣殿」と「銅の鳥居」は国宝に指定されており四季を通じて参拝者が後を絶ちません。



山地災害防止タイプ	274.53ha	
自然維持タイプ	198.56ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	395.45ha	



鬼杉



英彦山のモミジ

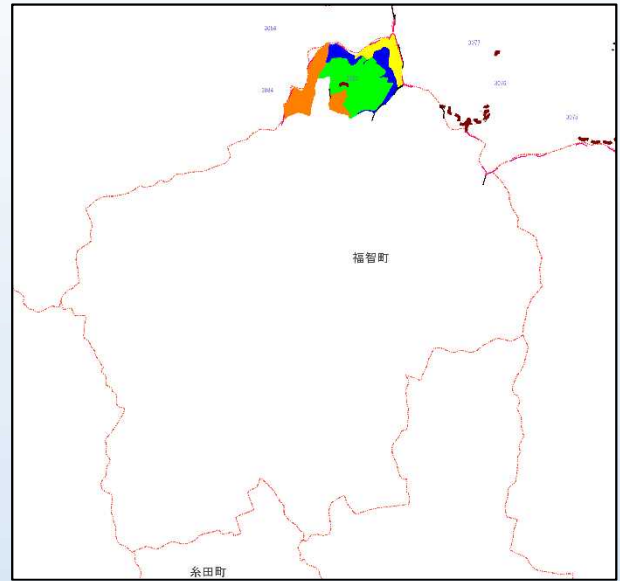


油木ダム

福智町の国有林

福智町にある国有林は162haで、町の森林面積の約10%を占めています。福智山を分水嶺とする福智川の上流域の国有林は、北九州国定公園特別地域に指定され、水源かん養・森林空間利用などの機能増進が図られています。また、官公造林地も約323haと多くなっています。

鷹取山の山麓には、旧藩時代から窯業が盛んであり、鷹取焼や上野焼は400年の歴史を受け継いでいます。



山地災害防止タイプ	30.73ha	
自然維持タイプ	39.28ha	
森林空間利用タイプ	20.42ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	71.48ha	



白糸の滝



鷹取山と福知山



興国寺

みやこ町の国有林

みやこ町にある国有林は483haで、町の森林面積の約5%を占めています。その大半が水土保持林となっており、国有林内には九州自然歩道も通り、近くの蛇淵キャンプ場とともに町民のふれあいの場として親しまれています



山地災害防止タイプ	114.62ha	
自然維持タイプ	6.17ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	362.13ha	



伊良原ダム



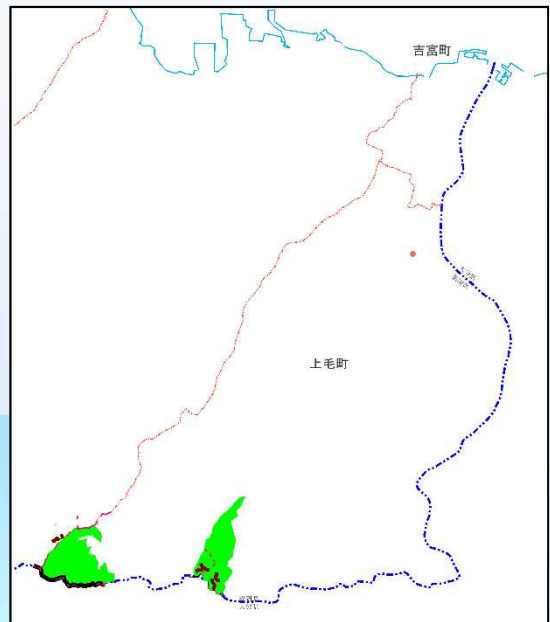
1112林班






蛇淵の滝

上毛町の国有林

上毛町にある国有林は267haで、町の森林面積の約7%を占めています。全面積が水源かん養保安林に指定されており、町の重要な水源となっています。



互岳国有林

山地災害防止タイプ	0.00ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	0.00ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	266.65ha	



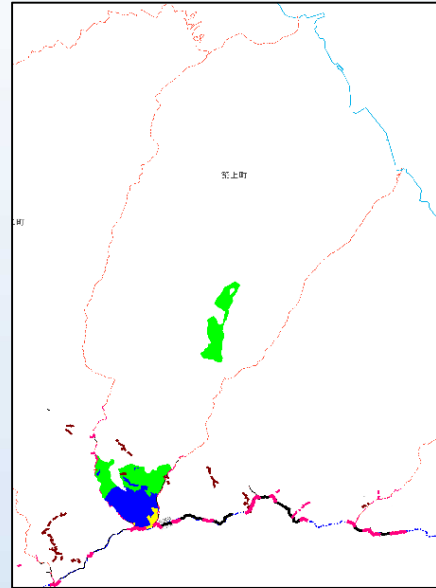
大池公園ふれあいの里





1136林班

築上町の国有林

築上町にある国有林は578haで、町の森林面積の約8%を占めています。そのうち約9割が水土保持林に指定され、水源かん養機能を重視して維持管理しています。



山地災害防止タイプ	223.31ha	
自然維持タイプ	0.00ha	
森林空間利用タイプ	18.05ha	
快適環境形成タイプ	0.00ha	
水源涵養タイプ	336.28ha	



他城のイロハモミジ



三丁弓の岩



奥山国有林

遠賀川流域国有林（流域のテーター）

（第6次国有林野施業実施計画書より）

1 市町村別機能類型別面積

市町村名	市町村面積	市町村森林面積	森林率	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	国有林面積合計
北九州市	49,169	19,322	39%	543.04	304.99	1,299.91		719.28	2,867.22
直方市	6,176	2,137	39%	342.87	30.24	63.23	20.01	326.30	782.65
飯塚市	21,396	10,739	50%	652.02	93.66			1,250.54	1,996.22
豊前市	11,101	6,873	62%	67.39	73.38	59.31		797.68	997.76
宮若市	13,999	8,328	59%	252.37		6.87		949.10	1,208.34
嘉麻市	13,511	7,855	58%	293.57	6.56	29.44		376.03	705.60
芦屋町	1,160	260	22%	11.83					11.83
岡垣町	4,864	2,517	52%	431.89	15.75	49.53		188.79	685.96
遠賀町	2,215	364	16%	53.15				66.26	119.41
鞍手町	3,560	1,260	35%	118.16				23.16	141.32
香春町	4,450	2,891	65%	14.78					14.78
添田町	13,220	11,037	83%	274.53	198.56			395.45	868.54
福智町	4,206	1,690	40%	30.73	39.28	20.42		71.48	161.91
みやこ町	15,134	9,531	63%	114.62	6.17			362.13	482.92
上毛町	6,244	3,864	62%					266.65	266.65
築上町	11,961	7,299	61%	223.31		18.05		336.28	577.64
計	182,366	96,967	53%	3,424.26	768.59	1,546.76	20.01	6,129.13	11,888.75

2 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由
風景林	安国寺	19.75	嘉麻市 (3061わ外)	国分寺史跡の背風景観上の重要地となっている。
自然休養林	北九州	1,291.58	北九州市・直方市 福智市 (3077れ外)	都市近郊にあり、隣接する民有地にケーブルカーの利用と併せて、皿倉山を中心とした雄大な展望、登山、キャンプ、ピクニック等、保健休養の場として親しまれている。

3 保護林

種類	区 分	面積(ha)	種類	区 分	面積(ha)
保安林	水源かん養保安林	10,541.29	国定公園	特別保護地区	95.70
	土砂流出防備保安林	378.14		第一種特別地域	659.95
	防風保安林	458.57		第二種特別地域	824.70
	保健保安林	1,195.37		第三種特別地域	4,468.42
	風致保安林	7.22		計	6,048.77
	計	12,580.59		都道府県立 自然公園	第一種特別地域
鳥獣保護区	特別保護地区	827.01	第二種特別地域		48.10
	普通地区	3,134.48	第三種特別地域		172.84
	史跡名勝天然記念物指定地	53.21	計		270.66

注 保安林の計は、種類ごとの重複関係を含む面積を計上。

4 保安林・自然公園等

種類	区 分	面積(ha)	種類	区 分	面積(ha)
保安林	水源かん養保安林	10,376.34	国定公園	特別保護地区	95.70
	土砂流出防備保安林	358.14		第一種特別地域	659.95
	防風保安林	458.57		第二種特別地域	824.70
	保健保安林	1,195.37		第三種特別地域	4,464.14
	風致保安林	7.22		計	6,044.49
	計	12,395.64		都道府県立 自然公園	第一種特別地域
鳥獣保護区	特別保護地区	827.01	第二種特別地域		48.10
	普通地区	3,315.03	第三種特別地域		172.84
	史跡名勝天然記念物指定地	53.21	計		270.66

注 保安林の計は、種類ごとの重複関係を含む面積を計上。

5 地元施設等の現況

分収林契約面積

区 分	面積(ha)
分収造林契約に基づく分収林	297.38
分収育林契約に基づく分収林	120.34

貸付地の用途別面積

用 途	面積(ha)	用 途	面積(ha)	用 途	面積(ha)
農耕用地	0.38	水路用地	1.42	建物用地	6.57
鉱業用地	0.19	電気事業用地	24.59	その他貸地	39.62
道路用地	60.29	採草放牧地	0.05	計	133.11

九州森林管理局管内図



	高速道路		森林技術センター
	鉄道		支署
	国有林		森林管理署
	県庁		森林管理局
	森林環境保全センター		署界
	森林環境保全ふれあいセンター		県界

局 署 所 在 地

森林管理局署等名	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX番号
九州森林管理局	860-0081	熊本市西区京町本丁2-7	096 (328) 3500	096 (328) 7062
福岡森林管理署	814-0006	福岡市早良区百道1-16-29	092 (843) 2100	092 (851) 5904
直方森林事務所	822-0002	直方市大字頓野3952-2 (合同)	0949 (26) 4041	0949 (26) 4042
若宮森林事務所			0949 (26) 4100	
新宮森林事務所	811-0112	糟屋郡新宮町下府7-1-14	092 (962) 0049	(FAX兼用)
太宰府森林事務所	818-0125	太宰府市五条1-15-3	092 (922) 4040	(FAX兼用)
早良森林事務所	811-1102	福岡市早良区東入部6-25-9	092 (804) 2829	(FAX兼用)
彦山森林事務所	824-0602	田川郡添田町大字添田1319-2	0947 (82) 0185	(FAX兼用)
小石原森林事務所	838-1601	朝倉郡東峰村大字小石原941-8	0946 (74) 2202	(FAX兼用)
矢部森林事務所	834-0073	八女市立花町下辺春1312-1 (仮事務所)	0943 (37) 0101	(FAX兼用)
合河森林事務所	828-0074	豊前市下河内356-1	0979 (88) 2015	(FAX兼用)

福岡森林管理署の沿革

明治19年

大小林区署制制定により福岡大林
区署が設置

大正13年

営林署官制公布により福岡営林署
に改称

平成10年

福岡営林署と直方営林署が統合、
直方は森林管理センターとなる

平成11年

組織の再編により、福岡森林管理
署となる

平成16年

直方森林管理センターを廃止

平成25年

一般会計に移行。内部組織を再編。



(令和4年度作成)